

呉音・漢音・唐音

漢字の音にも歴史がある

目標と振り返り
□ 漢字の音の歴史についての理解を深める。

漢字には、それぞれで何通りかの音読みをもっているものが、たくさんあります。例えば、次の文の「行」を含む熟語は、それぞれどのように読むでしょう。

空海は、全国を行脚するといふ苦行を実行して、民衆の心をつかんだ。

「行」は、右の例のように三つの音をもっています。一つの漢字に異なる音があるのは、日本と中国との長い交流の歴史の中で、違った時代に異なる音が伝えられたためです。

「ギョウ」は、最も古い時代に伝来した呉音、「コウ」は奈良時代から平安時代にかけて伝来した漢音、「アン」はそれ以降に伝来した唐音と呼ばれる音です。

○「ギョウ」……行列・修行など

○「コウ」……行動・通行など

○「アン」……行火・行脚など

ただし、全ての漢字が「行」のように三つの音をもっているとはかぎりません。

また、次のように、複数の読み方がある熟語もあります。

例

本性……ホンシヨウ（呉音） ホンセイ（漢音）

重複……ジユウフク（呉音） チョウフク（漢音）

呉音・漢音・唐音のほかに、日本で広く使われている

慣用音と呼ばれる音をもっている漢字もあります。慣用

音には「煩雑」の「雑」の「ザツ」や、「実践」の「実

の「ジツ」、「煎茶」の「茶」の「チャ」のように、生活

に密着した例が少なくありません。

練習

① 次の——線をつけた漢字の音は、「呉音」「漢音」「唐音」のどれか、漢和辞典を使って確かめよう。

- (1) 目測 面目 めんぼく
 (2) 経過 经文 きやうもん
 (3) 風鈴 予鈴
 (4) 仮定 仮病 けびやう
 (5) 矯正 正直 きやうせい
 (6) 平癒 平等 へいゆ
 (7) 一巡 統一 いちじゆん
 (8) 狂言 文言 きやうげん
 (9) 静聴 静脈 せいちやう じやうみやく

② 次の□に共通して入る漢字を、あとの□の中から

選び、熟語を完成させよう。

- (1) □産 □言
 (2) □母 □楽
 (3) 初 □至
 (4) □道 □灯
 (5) □豪 □引
 (6) 国 □内
 (7) 外 □納
 (8) □流 □天
 (9) □童 □小 □科
 (10) □寂 □脈 じやく
 (11) □轄 □正 □色
 (12) □奨学 しょうがく

15

10

5

この教材で学ぶ漢字

煎 <small>セン</small> いる 煎茶 豆を煎る	踐 <small>セン</small> 実践	煩 <small>ハン</small> わづらう 煩わしい 煩雑	唐 <small>トウ</small> から 唐草 唐模様	呉 <small>ゴ</small> 呉服
寂 <small>ジャク</small> さび 静寂 侘びと寂	狂 <small>キョウ</small> くるう 狂歌 時計が狂う	巡 <small>ジュン</small> めぐる 巡回 名所を巡る	癒 <small>ユ</small> いえる 快癒 心を癒やす	矯 <small>キョウ</small> 矯正
曾 <small>ソウ</small> ソウ 曾祖母 未曾有	呪 <small>ジュ</small> のろう 呪術 呪い	肯 <small>コウ</small> コウ 首肯	奨 <small>ショウ</small> 奨励	轄 <small>カツ</small> 管轄

新出音訓

修行 (シユ)
 面目 (ボク)
 経文 (キョウウ)

仮病 (ケ)
 静脈 (ジヨウウ)

- (13) 肯 □ 規 □
 (14) □ 学 □ 呪 □
 (15) □ 名 □ 未曾 □

静	夏	女	音	境	強	遺	出	直	文	定	街	児	金	有
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---